

新商品新技術開発支援事業の成果は



吉田勝利 議員(輝翔会)

問

この事業は市内の中小企業者が行う新商品新技術の開発に対し、補助対象経費の3分の2以内で、限度額300万円の補助金を支給するものだが、これまでの実績とその成果、及び今後の取り組みについて伺う。

答

この支援事業は、燕市内中小企業の新商品・新技術開発の促進を後押しするものであり、商品の高付加価値化などを目指し、新たな販路拡大にもつながる地域産業の活性化に寄与するものと認識している。

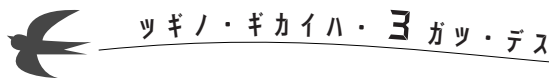
申請件数と採択数は25年度12件で8件、26



新商品開発の成果発表が行われた「中小企業支援制度説明会」(平成28年3月 市役所にて)

年度9件で6件、27年度17件で7件、28年度15件で7件となっており、この4年間で申請件数53件のうち28件が採択されている。28年度に採択した7件のうち5件が上限の300万円、ほかは140万円と278万円で計1918万円の補助金支給をしている。事業完了後の1年間の出荷額が9144万円あり、この制度の効果はあったと認識している。

市内中小企業者数は現在704社あるが、これらの企業にこの制度の認識がどのくらいあるのか調査をして、その成果を市民の皆様にもお知らせし、ご理解していただけるよう市として努力する。



指定管理者の指定(燕市温泉保養センターほか4施設) 特別委員会からの報告

主な質疑を紹介します



問 指定管理者に、どのくらいの利益を見込んでいるのか。

答 収入見込みから支出見込みを差し引いた不足額2,400万円を指定管理料として算定しており、利益は見込んでいない。

問 収支見込みの予想が変わった場合、指定管理者との協議はいつごろ行うのか。

答 毎月定期的に行い、状況把握に努めていきたい。

問 職員賃金の決定権はどこになるのか。

答 指定管理者のNPO法人ふれあいパーク久賀美に委ねている。

問 民営化をできるところは、民営化にすべきではないか。

答 指定管理者選定等委員会の中にも、経営の精通者がいるので議論を進めていきたい。

請願の審査結果

12月定例会に提出された請願1件について審査しました。

新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に関する意見書採択について

請願者

新潟市中央区沼垂東6-4-12 沼垂診療所内
山崎昭正

全会一致
採択